

## 2019年度 第6回協議会（書面会議）のご意見

ご意見	主な該当箇所	回答
<b>第1編「本計画について」</b>		
<b>1.1 共生社会の実現を目指して</b>		
・SDGsの「ステークホルダー」という言葉がわかりにくいので、語句説明を加えてはどうか。	図.SDGs(持続可能な開発目標)の特徴	1頁 欄外に下記のとおり、語句説明を加えました。 *ステークホルダー 地方自治体のみならず、民間企業、大学、各種団体、市民などの多様な関係者。
<b>2.7 計画・取組の継続改善と見直し</b>		
・本計画は、市が策定予定の「(仮称)あかしインクルーシブ条例」との関係性における相互チェックが必要になる。 ・単に相互に関連する指針が2つあるというだけでなく、本計画を根拠とする取組が同条例の理念に沿うものであるか、あるいはその逆についても、複眼的なチェックの継続が重要になってくる。	(2)計画の見直し	9頁 「(仮称)あかしインクルーシブ条例」の制定の際には、整合性を再度確認のうえ見直しを図るとともに、継続的な改善を図っていきます。
<b>第2編「ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるための方針（マスタープラン）」</b>		
<b>1.2 当事者・市民の意見を反映したユニバーサルデザインのまちづくり</b>		
・点字案内板など、障害者向けの設備が整備されると、整備の内容について新聞等で公表されるが、その使い方まで説明をしてもらえる機会は少ない。視覚障害者の中には、ガイドヘルパーに頼るのみで、一人で出かけることが少ない方も多い。 ・ガイドヘルパー無しでは出かけることが難しい場所もあるのは理解できるが、点字案内板など使い方が分かれば一人で気軽に外に出かける機会も増えるのではないかと思う。是非、整備に合わせて体験会のような形で開催していただきたい。	(3)当事者や市民の意見を踏まえたハード整備の推進	11頁 「ハード整備にあたっては、計画・設計・施工の各段階において、当事者や市民の意見を反映しながら実施し、整備後も当事者等に利用いただく機会を提供し、その意見を踏まえて改善するなど、ユーザビリティの向上を実現していきます。」と修正しました。
・タイトルが「②バリアフリー整備の専門家の養成」となっているが、「ユニバーサルデザイン」を加えてはどうか。	②バリアフリー整備の専門家の養成	12頁 「ユニバーサルデザイン・バリアフリー整備の専門家の養成」と修正し、本文も「建築物や歩道等のユニバーサルデザイン・バリアフリー整備にあたっては」と修正しました。
<b>1.3 安全・安心なまちを支えるユニバーサルデザインの都市基盤整備</b>		
・タイトルが「①学校等の公共施設のバリアフリー化の促進」、「②民間施設のバリアフリー化をできるところから実現」となっているが、「ユニバーサルデザイン」を加えてはどうか。	①学校等の公共施設のバリアフリー化の促進 ②民間施設のバリアフリー化をできるところから実現	17頁 「1.3 安全・安心なまちを支えるユニバーサルデザインの都市基盤整備」のリード文を、「バリアフリー基準の適合はもとよりユニバーサルデザインの考え方に基づき、取組を全市的に進める」と修正しました。(13頁)
<b>1.5 ユニバーサルデザインのまちづくりに必要な情報提供</b>		
・イベント時の情報提供について、情報保障のみでなく、車いす席や会場のバリアフリー情報などの情報も提供いただきたい。	(3)イベント時の情報提供の配慮	22頁 「また、イベント会場における車いす席や多目的トイレ、授乳室の有無といったバリアフリー情報の事前周知の方策について検討します。」と追記しました。
・タイトルが「(4)市内のバリアフリーの取組事例の紹介」となっているが、「ユニバーサルデザイン」を加えてはどうか。	(4)市内のバリアフリーの取組事例の紹介	22頁 タイトルを「市内のユニバーサルデザイン・バリアフリーの取組事例の紹介」と修正し、本文も「ユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する好事例を庁内で連携を図りながら蓄積・共有し、市民や事業者等に情報発信する取組を実施していきます」と修正しました。 合わせて、17頁「②民間施設のバリアフリー化をできるところから実現」の本文を「研修機会の提供やユニバーサルデザイン・バリアフリーに関する好事例の情報提供を行います。」と修正しました。
・ユニバーサルデザイン・バリアフリーのグッドプラクティスや改善事例は、市役所内で部署を超えて連携・蓄積し、市民や事業者等にシェアしていく体制が大事である。		

ご意見	主な該当箇所	回答
<b>1.6 ユニバーサルツーリズムの推進</b>		
・あかし案内所で行うこととされている、多言語対応、宿泊斡旋について、計画本文中には記載がない。	(2)「あかし案内所」の活用	23頁 計画の記載内容に「市内飲食・宿泊・観光施設等のバリアフリー情報をはじめとした、ユニバーサルツーリズム情報等を提供します。あわせて、多言語翻訳端末の配置など、多言語対応の拡充を図ります。」と下線部を追記しました。
<b>1.7 災害時・緊急時に対応したユニバーサルデザインのまちづくり</b>		
・「地域や民間事業者とも連携しながら」、医療機関も加えてはどうか	(3)災害時要配慮者を考慮した避難所の確保	24頁 今後、医療機関を含む民間事業者と、災害時要配慮者に対応した避難所の確保に向けた協議を進めていきます。
<b>3.12 松が丘地区</b>		
・松が丘地区には勾配が急な坂道が多いことを図などを用いて表現してほしい。	—	57頁 勾配が10%ある坂道の写真を追加しました。
<b>4.1 重点整備地区の設定・基本構想の策定に向けた考え方</b>		
<p>・「移動等円滑化促進地区」におけるハード整備にあたっては、限られた予算を効果的、効率的に執行することが必要であるため、計画的な協議・調整をお願いしたい。</p> <p>・心のバリアフリーの推進については様々なメニューが提示されている。全メニューの最後は「創出」「理解を深める」「実施・推進する」等で結ばれているが具体的な内容やスケジュール等がもう少し明示されていることが必要ではないか。</p>	—	58頁 「バリアフリー化が特に必要な地区で、核となるハード事業(公共交通、道路、交通安全、建築物、路外駐車場、都市公園等)の関係機関との実施に向けた調整が可能な地区については、バリアフリー法に基づく「重点整備地区」に設定し、ハード・ソフトの具体的な事業内容やスケジュール等を「基本構想」として第3編に記載します。」と修正しました。
<b>その他のご意見</b>		
<p>・JR明石駅北側の乗降スペースを利用する車に対するルールが無いと思う。案内表示を工夫してほしい。</p> <p>・東側の市営駐車場前の道路に、駅の送迎車が多く、道路が狭くなり危ない。</p> <p>・送迎用のスペースを駅周辺に別に設けるなどの対策をするべきではないか。</p>	—	— 交通結節点における、安全・円滑な利用環境の整備に向けて、今後、ソフト・ハード両面での検討を行っていきます。
<p>・あかし案内所の表示はインフォメーションセンターと英文表記になっているが、以前の仮称「ユニバーサルツーリズムセンター」から変更となった理由は、</p> <p>・英語・中国語・ハングル版のパンフレットも作ってほしい。</p> <p>・ジェンダーフリートイレは設置されているか。</p>	—	— <p>・誰もが安心して外出を楽しめる拠点として、また、観光情報だけではなく、本市の魅力を総合的な案内を行う施設として運営するため、名称を「あかし案内所」としました。</p> <p>・現在、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語版のパンフレットをご用意しており、今後、更なる拡充を図っていきます。</p> <p>・施設内に「どなたでもご利用できる」旨や「All Genders」と表示した多機能トイレを1室設置しています。</p>
<b>概要版</b>		
・本計画は、基本理念、基本目標がポイントとなるので、もう少し強調できないか。	基本理念、基本目標	3～4頁
・推進モデル地域は、明石市独自の取り組みとして、市民に知ってもらい活用してもらい必要があるので、もう少し紙面を広げて大きく取り上げてはどうか。	—	4頁 ご指摘を参考に、記載内容及びレイアウト等を修正しました。
・促進地区の位置(区域)がわかるように表示してはどうか。	移動等円滑化促進地区の設定	4頁